

県立学校だより

柔道を通して

礼法指導

女子柔道部は

県大会四連覇

県立東白川農商高等学校

本校は、創立八十年を越える伝統ある職業高校で、多くの卒業生が地元企業に就職しています。そこで「心身ともに健全な産業人の育成」を教育方針の柱として、特に次の点に力を入れています。

- (1) 専門的学力の向上と資格取得
- (2) 心の教育―礼法指導
- (3) 楽しい学校行事(学校裁量時間)
- (4) 国際理解教育の推進
- (5) 部活動の活発化

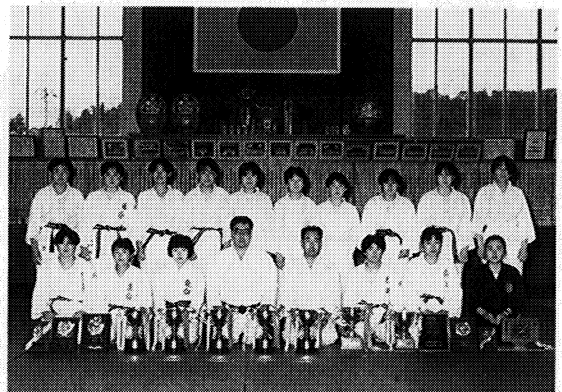
いずれの分野でも、生徒は、生き生きと活動していますが、ここでは礼法指導と柔道部女子の活躍について紹介します。



時間	項 目	ナレーション
8:00	テープスタート 音楽開始「水と鳥の音楽」 ・鳥の音開始 ・音楽開始 (ドヴィッシー「夢」)	
8:20	音楽終了 音楽開始「雨の音のハーモニー」 音楽終了	「みなさんおはようございます」 「今日もおさわやかな一日が始まります」 「明るくあいさつを交わしましょう」
8:25	音楽開始 「α波によるストレス解消の音楽」	「まもなく朝のHRがはじまります」 「静かに席について心を落ち着けましょう」
8:27	瞑想開始	「準備ができたら目をとじてください」
8:28	音楽終了	「静かに目をあけてください」 「それではみなさんで朝のあいさつを交わしましょう」

全生徒が柔道を―礼の心を育てる
本校では、文部省の武道指導指定研究をきっかけとして、男女全生徒に柔道を履修させ、併せて礼法指導を実施しています。授業では、ウレタン畳・投げ込みマットを使って、まず抵抗感を取り除き、技のかけ方、受け身の取り方にも個人差を配慮して、だれもが興味を持つて取り組めるよう指導法を工夫しています。また、柔道を通して、礼の心と態度を育てることを、特に心掛け、始終業時の座礼、組むさいの立礼を徹底させています。

更に、礼を大切にする心がふだんの生活に生かされるよう、次のような試みをしています。



- (1) 朝の一声運動(全教職員が交替で校門において声を掛ける)
- (2) 朝のノーチャイム(別表)
- (3) 「思い遣りの放送」(SHR時)
- (4) 礼法ハンドブック(本校作成)
- (5) 礼法スローガン塔(昇降口二基)

- ① 入室退室・心にノック
- ② さわやかな挨拶
- ③ 笑顔で会釈
- ④ 美しい言葉

(6) 美化活動(清掃・絵画等掲額)
校舎の美しさと挨拶の良さは、本校生の誇りとするところです。
四連覇の快挙―柔道部女子
柔道の授業で学んだ技と心を深め

たいと望む生徒は、柔道部に入って活動しています。柔道部は、伝統のある部ですが、最近特に女子が目覚ましい活躍をしています。

部員は、

- (1) 自主自立
- (2) 個性ある柔道
- (3) 努必達

を目標として、男女の別なく、三部制の厳しい練習を続けています。

○早朝練習(三十分)

基本的打ち込み、ランニング
○昼休み練習(三十分)

ウェイトトレーニング

○放課後練習(三時間)

かき稽古等

このほか、夏季合同合宿、キャンプ、もちつき大会、鏡開きなどの行事を通して、技を磨き親睦を深めています。今年は、筑波大女子柔道部が本校で強化合宿を行い、世界一流の柔道に触れることができました。

この結果、福島県新人柔道大会五連覇、福島県高校総合体育大会四連覇など、数々の成果を挙げ、平成三年度全国高校総合体育大会では、優秀校の栄に輝きました。

本校では、折口信夫補修校歌の一節から命名した「翔べ若人の賞」を制定し、部活動などで活躍した生徒を表彰していますが、毎年柔道部女子から多くの受賞者を出しています。